

安保徹先生が本人が言うように「ぴんぴんころり」と逝ってしまい、あまりにも突然で、心の引き出しの一つが閉ざされた気分でしたが、安保理論を継承発展させている医師や施術師のグループがいることを知りとても勇気づけられました。16年前から「自律神経免疫治療研究会」として活動されていたそうです。安保先生亡き後も安保理論を研究し、世に広めようとの趣旨で「自律神経病研究会」として活動を続けられています。会の理事長さんである永野医院の永野剛造先生から「竹屋さんでは安保先生がとてもリラックスされ、気に入っていたみたいなのでその様子を話してくれないだろうか」と連絡がありました。安保先生のことならば何が何でもと光栄に思い追悼を兼ねた研究発表会で話をさせて頂きました。私を含め6人の方が話され、私は陶板浴で皆さんと一緒に取り組んだ講演会についてお話させて頂きました。安保理論を広めることが自分や家族親しい人たちが健康になる近道と「講演会を成功させる会」での毎回の学習会での様子。一度目の講演会では1,200名の会場に入りきれず第2会場200名を作り、会場を移動しながら沢山の質問にも嫌な顔せずユーモア交え丁寧に答えていた安保先生の姿。準備する側の私たちの苦労話もにこにこしながら聞いていた安保先生。新潟での講演会に陶板浴のお客様42名と大型バスで参加し、夜の懇親会でみんなとカラオケのデュエットで楽しそうに歌っていた先生。講演を始める時、普通は挨拶か自己紹介が多いのに、先生は毎回「えー」とから始めるよね、と先生に言っても毎回「えー」から始める先生。お酒が大好きだった先生など皆さんと一緒に作ってきた思い出を話させて頂きました。今思い出しても世界的にも大事な大事な大切な人でした。この安保先生の意思をつないでいる代表の方が永野医師です。なんと今年の「陶板浴夏祭り」はこの永野先生に講演をお願いし来て下さる事になりました。とても穏やかで芯がしっかりしている先生だなと皆さんも感じると思います。どんな話をして下さるのか楽しみにして下さいね。

夫が元気な時期に、「宇宙に貯金」の話をしていたのを思い出し、その事を経営者の仲間に話したらとても敏感に感じ、その後少しブームになっています。私や子どもたちに「宇宙貯金しておけば必ず利息が付いて帰ってくるからしておけよ、お金じゃないよ、宇宙貯金だよ」と言っていました。電車の中で親子ずれの子が「あ、お爺ちゃんが来た」と親の顔を見「じゃあなた立ちなさい」との光景に心の中で親と子二人で貯金したなと眺めていました。意識すると今までなにげなく見過ごしていたことが見えるようになるものですね。宇宙貯金を少し意識してみようと思いました。少しは溜まっているかな。まさかマイナス、そんな!?